

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000201
事業所名	グループホーム一色

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	地域清掃へ利用者と職員が参加している。散歩や外出時に挨拶を交わし、野菜の差し入れをもらったり、地区の祭に参加するときに外出支援ボランティアがいる。演芸ボランティアの事業所への訪問も受け入れている。祭の子供獅子が事業所までやってきてくれる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	二ヶ月ごとに町内会長、民生委員、いきいき支援センター担当職員などが参加して開催されており、事業所の行事報告や質疑応答の場となっている。入浴状況や風邪の季節の感染症対策など、事業所の生活について理解してもらっている。また情報を得る場としている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	社会福祉協議会や区の主催する研修へ職員が参加している。生活保護者を受け入れ、区の担当者との連絡を密にとっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	日に何度も散歩に出たい、とかパンが食べたい、肉は食べない、などという利用者から出た要望には職員と一緒に散歩にでたり、食事内容を変えるなどして、要望に答えている。利用者の様子を今知りたい、見たい、といった家族の要望をスマートフォンを活用することで答えている。毎月ホーム便りを発行し、家族へ写真つきで送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	○	×	×	×	○	○		